

被災地方言会話集

— 宮城県宮城郡松島町 —

<自由会話>

自由会話の概要

収録地点 宮城県宮城郡松島町

収録日時 2012（平成24）年7月14日

収録場所 宮城県宮城郡松島町磯崎 松島町中央公民館視聴覚室

話題 【震災のときのこと】

話者

A	男	1943（昭和18）年	（収録時69歳）	[Bの夫]
B	女	1942（昭和17）年	（収録時70歳）	[Aの妻]
C	男	1959（昭和34）年	（収録時52歳）	[Aの職場の後輩]

話者出身地

A	松島町磯崎（インザキ）
B	松島町磯崎（インザキ）
C	松島町初原（ハツバラ） ※5歳まで仙台市

【震災のときのこと】

話し手

A 男 1943 (昭和 18) 年 (収録時 69 歳)

B 女 1942 (昭和 17) 年 (収録時 70 歳)

C 男 1959 (昭和 34) 年 (収録時 52 歳)

001C : トコロデ ヒナンジョサ ナンニジグライ イタノッシャ。
ところで 避難所に 何日くらい いたのですか。

002B : ワダシラワー (A ア ワタシラワー) ツギノ アサ カエッテキタヨ。
私たちは (A あ 私たちは) 次の 朝[に]帰ってきたよ。

003A : カエッテキタノワネ。
帰ってきたのはね。

004B : アノ (A アイズ _____) オバチャンジ イダガラ
あの (A あいつ _____) おばちゃんの家[に]いたから

(A アノ) ヒナンジョサワ イガナガッタガラネ。

(A あの) 避難所には 行かなかったからね。

005A : ヒナンジョニワ イガナガッタノネ。 ダカラ、
避難所には 行かなかったのね。 だから、

ヒナンジョサワ イガネーケド (B ヒトバンダゲ トメテモラッテネ)
避難所には 行かないけど (B 一晩だけ 泊めてもらってね)

マー デンキガ ツカネーツノワ イチバン ヤッパリネ。 アト、
まあ 電気が 点かないのは 一番 やっぱりね。 あと、

ミズガ デナエガッタガラ。

水が 出なかったから。

松島町 自由会話

006A : ホンデ ミズ ミズクミー アルツテ ミンナノブン トツテキテ {笑}
それで ×× 水汲みに 歩いて みんなの分[を]取ってきて {笑}

ポリタンクデ アノ アッチ ジョ (C ヨッカグライ
ポリタンクで あの あっち ×× (C 4日くらい

カエランネガッタカラッサー) ジョースイジョーサ イツテ ミズ
帰られなかったからね) 浄水場へ 行って 水[を]

モラツテキテ ホシテ ミンナ ホラ ヒトリグラシトガ
もらってきて そして みんな ほら ひとり暮らしとか

オンナノヒトタジトガ、ネ ミンナ クバツテアルツタカラ オットサンモ。
女の人たちとか、 ねえ みんな 配って歩いたから お父さんも。

キュ アノ キュースイシャダケデ マニアワナカッタダオネ、
×× あの 給水車だけで[は] 間に合わなかったんだよね。

007A : マ キュースイシャワ イッパンノヒトワ ヤッパリー ソレオ
まあ 給水車は 一般の人は やっぱり それを

マズーシカナインデ ペットボトルサネ (B ンー ユイナノサ) {笑}
待つしかないんで ペットボトルへね (B うん このよ^うなのね) {笑}

イッポンヤ ニホン モラウダソーダケド ワタシワ タマタマ
一本や 二本 もらうのだそうだけど 私は たまたま

スイドーシギョーショニ イダモンダカラ、マー ミズオ
水道事業所に いたものだから、まあ 水を

ツクッテルフタゴヤ [1] マデ イツテネ。
作っている二子屋[浄水場]まで 行ってね。

008B : タダシ ガソリンガナクテ、
ただし ガソリンがなくて、

松島町 自由会話

009A : ンー ガソリンガ ナカッタ~~ン~~デネー、ホレー。
うん ガソリンが なかったんでね、ほら。

010B : ヒドカッタネー。 ソッチガラ サンジューリッター ~~ン~~デ
大変だったね。 そっちから 30リットル それで

ワゲッガラートガネ、ソッチガラ ナンリッター。 {笑}
分けるからとかね、そっちから 何リットル[分けるとか]。 {笑}

011A : デモ サイゴニワ ゴリッターデモ ナンボデモ ナ ホシカッタカラ。
でも 最後には 5リットルでも どのくらいでも ね 欲しかったから。

012B : モラッテ、ホーシテ ミズクミシテ (A ンー) ワダシテアルッタ。 {笑}
もらって、そして 水汲みして (A うん) 渡して歩いた。 {笑}

013C : シゴトデモ ツガエナガッタガラネ ガソリンワ。
仕事でも 使えなかったからね ガソリンは。

014A : ンー アー ガソリンワネ。(B ネー) マー ~~ン~~デモ ヤクバワ
うん ああ、ガソリンはね。(B ねえ) まあ それでも 役場は

ポンプカナンカ ミズアゲルブンワ モラッタ~~ン~~デショ
ポンプかなにか[で]水[を]上げる用には[ガソリンを]もらったんでしょ

オソラク。
おそらく。

015C : イヤッ。
いいえ。

016A : モラワネーノ。(C ショクインワ マー) ア、アー、ショクインワ
もらわないの？(C 職員は まあ) あ、ああ、職員[に]は

マワ~~ン~~ナイサ。ショクインサ (C ソーユー)
回~~ん~~ないね。職員に (C そういう[ガソリンを])

ヤッタナンテ イッタラ ワラワレルシー。

渡したなんて 言ったら 笑われるし。

017C : デモ クルマガ ナイガラ ショクイン ジブンノ クルマデ ミナ
でも、車が ないから 職員[は] 自分の 車で みんな

ヤンノッシャ。 (A ンー) ヤンナキャネーノネ。 (A ンー) ンダカラ
やったんですよ。 (A うん) やらなきやいけないのね。 (A うん) だから

ヒドカッタ。

大変だった。

018B : ガ ガソリンニ ナロ ナラブンダゲッドネー、モー マワッテコナインダネ。
× ガソリンに ×× 並ぶんだけどねえ、もう 回ってこないんだよね。

019A : ンー ガソリンニモ ナランダナー (B デモー ンー) ヤッパリ。アノー、
うん ガソリンにも 並んだね (B でも うん) やっぱり。あのう、

020B : ギョキョーサ (A ギョ) {笑} ナランダリ モ アノー エーコープダノ
漁協に (A ××) {笑} 並んだり × あの Aコープや

セーキョーダッテ モー ダーット モー ホラ カイダシ ナラnde、
生協だって もう ダーっと もう ほら 買い出し[に] 並んで、

(A ナ ガソリン) モー (A アー ガスケツネ) タカギノマチノホームデ
(A × ガソリン) もう (A ああ ガス欠ね) 高城町の方まで

ナラन्दルッテ ユッテタカラネ。 (A ンー) ワダシラワ ワリト デモ
並んでるって 言ってたからね。 (A うん) 私たちは 割と でも

レートーコニ ナンボカ ハイッテダノ アッタガラ、ソレオ
冷凍庫に いくらか 入ってた物[が]あったから、それを

リヨーシタリシテ。アドワ ナンテユンガイ ソーユー レートーガイシャサ
利用したりして。後は なんて言うのか そのような 冷凍会社に

ツトメテダヒトナンカ ホラ サカナ モツテキテクレタリ
勤めてる人なんか[が] ほら 魚[を] 持ってきてくれたり

(A モラッタリナ) ネ。(A ンー シタヨナ) ナ ナンカ ソンナ
(A もらったりね) ね。(A うん したよね) × 何か そんなに

ナラバナイデ シマッタノネ、ワダシラワ。ナントカ シノギマシタ {笑}。
並ばないで しまったのね、私たちは。 なんとか しのぎました {笑}。

021A : マ オレモ アンマリ クワネクタッテイーカラ ホラ。 {笑}
まあ 私も あんまり 食べなくてもいいから ほら。 {笑}

クワンネーガラ。 {笑} ンー (B ンー) タダ
食べられないから。 {笑} うん (B うん) ただ

022C : オライデワネ ムスメ フタリー ナンジナランダカヤ。 {笑}
私の家ではね 娘[が] 二人 何時[間]並んだんだか。 [2] {笑}

023A : アー アノ スーパーニ。(C ンー) ウン ヤッパリ コドモガ
ああ あの スーパーに。(C うん) うん やっぱり 子どもが

イットコワ タイヘンダトオモーナ。(B アラー) ヤッパリ ナンデモ
いるところは 大変だと思うな。(B あら) やっぱり なんでも

タベダイベシサ。
食べたいだろうしね。

024C : ウチー ンデ ホラ ヤクタタズダカラサ。 {笑}
うちは それで ほら 役立たずだからね。 {笑}

ヤクバカラ ケランネカラ、 {笑} ダレモ イネガラ
役場から 帰られないから、 {笑} 誰も いないから

(B オン ンー) ナンニモ デキネガラ。
(B ×× うん) 何にも できないから。

025 B : オートサンノ オードドノ コドモモ ホラ Y1 [3] ホラ ニ
お父さんの 弟の 子どもも ほら Y1 ほら [Y1]に

ツトメテダカラ ケッキョク デンキ ツガナイガラネ
勤めてたから 結局 電気[が] 点かないからね

レイトーモノナンカワ (A ンダ モッテキテクレダリナ)
冷凍ものなんかは (A そうだね 持ってきてくれたりね)

ミナ ホラ モラッタリシタンダッテ。ソーユーノ ホラ、
みんな ほら もらったりしたんだって。そういうの ほら、

ハンバーグドカ ナンドカ モッテキテクレタリ、アノ アド
ハンバーグとか なんとか 持ってきてくれたり、あの あと

チャーハンルイダツケカナ。
炒飯類だったかな。

026 C : ン デモ デモサ (B ン) テレビモ デンキモ ツカネーガラ。テレビモ
うん でも でもさ (B うん) テレビも 電気も 点かないから。テレビも

ミランネーツーコトワ (A ソーソーソーソー) ジョーホーガ
見られないってことは (A そうそうそうそう) 情報が

サッパワガンナカッタ。
全然わからなかった。

027 B : ンダネ。
そうだね。

028 A : ヤッパリ ラジオシカ ナカッタンネ、ン。
やっぱり ラジオしか なかったのね、うん。

029 C : ンデー ワライバナシダカモシャネゲッドモ、ツナミガ キタツツーノ
それで 笑い話かもしれないんだけど、 津波が 来たというの[を]

松島町 自由会話

オセラッタノ グンマノ トモダチカラダッタノ。
教えられたの[は] 群馬の 友達からだったの。

030A : アー ココニ イテ ワガンネグテガ。
ああ ここに いて わからなくてか。

031B : グンマカラ。Cクン オシエラッタノガ。エー {笑} デモ。
群馬から。 C君[は] 教えられたのか。 ええ {笑} でも。

032C : ミヤギケンニ ツナミガ キテルツツーコトガ カイガンスラ ワガンネーノ、
宮城県に 津波が 来てるということが 海岸すら わかんないの、

ヤグバデ。
役場で[は]。

033B : アー、アー。
ああ、ああ。

034A : ズイブン オソカッタダオナ、ヤクバ。 ナ デモ アレ テレビカナンカデ
ずいぶん 遅かったんだね、 役場[は]。× でも あれ テレビか何かで

エー、ンデモ ヤクバニワ キキカンリガアッテ ソコサ
ええ、でも 役場には 危機管理があつて そこに

035C : アノ タントーブショワ ワガッテテモ (A キタンデショ)
あの 担当部署は わかってても (A [情報は]きたんでしょ?)

ワレワレワー (B アー) チョクセツ カンケーナイブショノ
われわれは (B ああ) 直接 関係ない部署の

ニンゲンマデワ ワガンナクテ。
人間までは わからなくて。

036A : アー トグニ イナイガラ ヤグバニ イナイガラナー ンー。
ああ 特に いないから 役場に いないからね うん。

松島町 自由会話

037C : インデ タマタマ デンワ ツージタジカンタイ グンマノトモダチド
それで たまたま 電話 通じた時間帯 群馬の友達と

シャベレダドキニ テレビデ ツナミガ アガッテル エーゾー、アノ
話せたときに テレビで 津波が 上がってる 映像[が]、あの

(B ウズツテダト) ソイズガ [4] オセーラッタノ。ナニスヤト [5]。 {笑}

(B 映ってたと) そいつが 教えられたの。何だってと。 {笑}

038A : インデモ ソンドキニワ デンワ ツージタンダ。
それでも その時には 電話 通じたんだ。

039C : ツージタ。
通じた。

040A : ンー ア ケータイダガラネ。
うん あ 携帯[電話]だからね。

041B : ツ
×

042C : エ インデモ (A ウジノ) ホントカヤッテ。
え でも (A うちの) 本当かって[問い返した]。

043B : ウジノ ムスメモ キシャ トーシナガッタカラネ、(A ソーソーソー)
うちの 娘も 汽車[が] 通らなかったからね、(A そうそうそう)

フツーダッタガラワ。モー イッシューカングライ カイシャサ {笑}
不通だったからね。もう 一週間くらい 会社に {笑}

イーダミタイヨ イダンダネ。

いたみたいよ、いたんだね。

044A : ン カイシャデモ (B カエレ) マズネ カエレナイカラ。
うん 会社でも (B ×××) まずね 帰れないから。

松島町 自由会話

045 B : ミンナデ ナンカ カイシャニ イダミダイヨ。シー。
みんなで なにか 会社に いたみたいよ。うん。

046 C : ハジメデ カワノ ミズ ツカッタヨ アレ。
初めて 川の 水[を]使ったよ あれ。

047 A : アー ア ソレワ アレデショ、 トイレナンカモアツカラ。
ああ あ それは あれでしょう、トイレなんかもあるから。

048 B : アノ トイレナンカダト。
あの トイレなんかだと。

049 C : シー カオアラウ、イヤ ノミミズイガイノ (A シー) ミズオ。
ウン 顔[を]洗う、×× 飲み水以外の (A うん) 水を。

050 A : マー タシカニ ミズモ デナイッテノワ クルシー。マ (B ナ)
まあ 確かに 水も 出ないっていうのは 苦しい。 まあ (B ねえ)

ムガシダッタラ ベンジョモネ ポットンダッタカラ エガッタダベゲド
昔だったら 便所もね ぼっとんだったから よかったんだろうけど

(B イマワ スイセンダガラネー) イマワ ヤッパ スイセンダガラ。

(B 今は 水洗だからね) 今は やっぱ 水洗だから。

051 C : オライワ マダ ボットンダカラ。
私の家は まだ ぼっとんだから。

052 B : アレガ ヒドインダヨ。
あれが ひどいんだよ。

053 A : ア ンダナ アンダノホーワ。 (B マダイーガラ) シ デモ イー
ああ そうだね あなたの方は。 (B まだいいから) × でも ××

イーガッタノカナ。
よかったのかな。

松島町 自由会話

054B : ウジデ デモ フロノミズ ナガ オロサナカッタノ (A マ ナガサナイ
うちで でも 風呂の水が ×× 捨てなかったの (A まあ 流さない

オロサナカッタカラ) ダカラ ソレオ ツカッテネ。
捨てなかったから) だから それを 使ってね。

055C : オライモ アサニ ハッタバリダッタカラ、 ソイツガ [6] アノ
私の家も 朝に [水を]溜めたばかりだったから、それが あの

セギユストーブデ (B ア アー) (A ジョーカシテネ) ン
石油ストーブで (B あ、ああ) (A 浄化してね) うん

ツカッタノ。
使ったの。

056B : ア ツカイミズニワネ。
ああ 使い水 [7] にはね。

057C : ウン、イヤ ノミミズニ ツカッタノ。
うん、いや 飲み水に 使ったの。

058A : エー ソイナゴドシタ。
ええ そんなことした?

059B : ニダラ、ニダラ ガスデ ニダラセレバネ。
煮たら、煮たら ガスで 煮たたせればね。

060C : イヤ コレ オフロミズワ アダラシク イレダバッカリダッタカラ、
いや これ お風呂[の]水は 新しく 入れたばかりだったから、

ソイズ ツガッテ シバラグ。
それ[を]使って しばらく。

061A : アー ソー、マー オラホワ ホラ フロノ ミズワ トーゼン ベンジョ
ああ そう、まあ 私の方では ほら 風呂の 水は 当然 便所

ネー ジョーカーソーダカラ コレワ シドイ シードーデ。
ねえ 浄化槽だから これは 大変な 運動で。

062 B : デモ ホラ アノ {笑} トイレ イッカイツカッテ ナガスト モ
でも ほら あの {笑} トイレ 一回使って 流すと もう

バケズ フタツグライ ハイ نداオンネ。
バケツ 2つくらい 入るんだもんね。

063 A : ハイル ハイル。シー。
入る、 入る。 うん。

064 C : カワミズデ カオアラッテ フロミズデ (A シー) ノンダ نداオネ。 {笑}
川[の]水で 顔[を]洗って 風呂[の]水で (A うん) 飲んだんだよね。 {笑}

(A ノンダ) (B ソー) イマノジダイ アンマリ カンガエラレネチャネ、
(A ノンダ) (B そう) 今の時代 あんまり 考えられないよね、

ヨーワネ。 {笑}
要はね。 {笑}

065 B : マズネ。
まずね。

066 A : ソ ソレモ ハズミミダナヤ。
× それも 初耳だな。

067 B : シー イロイロ タイヘンダッタオネ。
うん いろいろ たいへんだったよね。

068 A : イママデ キーダゴドネガッタナヤ (C ソデスカ) {笑}。
今まで 聞いたことなかったよね (C そうですか) {笑}。

069 B : Cクンガ イワネガラナ。
C君が 言わないからね。

070A : イワネガラナ。 {笑}

言わないから。 {笑}

071C : イッシューカン ス イジョースギデガラダヨ アノ キュースイシャドカ
一週間 × 以上過ぎてからだよ あの 給水車とか

(A ンー) (B ンーンー) アーユノ アノ ネ ミズ

(A うん) (B うんうんうん) ああいった あの ねえ 水[を]

モラエルヨーニナッタノワ。

もらえるようになったのは。

072B : ンダガラ ミズモライモ ケンカダオン ケンカ。アダシラワ ミズ
だから 水もらいにも ケンカだもん ケンカ。あたしたちは 水[は]

ホレ オトサンガ クンデキタノ アイズシテ [8] ツカッダゲッドモ、
ほら お父さんが 汲んできたの[を] あいつして 使ったけれども、

モー ミンナ ホラ (A アー ナルホドナ) ヨーショヨーショサ ミズ
もう みんな ほら (A ああ なるほどな) ところどころに 水[を]

モライサ (A ンー) イグデショ。

もらいに (A うん) いくでしょう。

073A : ケンカダナ ヤッパリ。

ケンカだね やっぱり。

074B : ンデワ ケンカスンダドワ。 (A ダッデ) ハダイタリ ハダガッターシテ
それで ケンカするんだとね。 (A ×××) 叩いたり 叩かれたりして

{笑}

{笑}

075A : ダッテ ペットボトル ニリッターイリノニ イッポンヤ ニホンデワネ
だって ペットボトル 2リットル入りのに 一本や 二本では

ドコニモタリネ。
どこにも足りない。

076 C : アンドキ ヒトリ ロクリッターマデッテ イジオー リョーフ キメダンダネ。
あの時 一人 6リットルまでって 一応 量は 決めたんだね。

077 B : ンー。
うん。

078 A : アー ヤクバデネ。
ああ 役場でね。

079 C : タダ ヨーキガ オッキート イッペケライント、 (A ンー)
ただ 容器が 大きいと いっぱいくださいと、 (A うん)

イッペイレデケライント。
いっぱい入れてくださいと。

080 A : イヤ ヤッパ ミンナネ (C ンー) ヨーキモ オッキーノ
いや やっぱり みんなね (C うん) 容器も 大きいの[を]

モッテタラシーンダケド、 マー ツギノヒカラワ チャッコイノデ
持って行ったらしいんだけど、まあ 次の日からは 小さいので

ショーガネツカナッテユーコトダケド。マー ソレデ ナ ドーシタラ
仕様がなにかということだけど。 まあ それで × どうしたら

イーノカナー マー
いいのか まあ

081 C : デモー キュースイワ タスケラッタネー。イロンナ ジチタイカラ
でも 給水は 助けられたねー。 いろんな 自治体から

キテモラッテ。
来てもらって。

松島町 自由会話

082A : ア、アノー (C ネー) ヤクバ トーシテワネー ズイブン オテツダイ
あ、あの (C ねえ) 役場[を]通してはね ずいぶん お手伝い[が]

アッテ ゼンゼン シラナイシトノ ア カオミッド、 キュースイシャニワ
あつて 全然 知らない人の × 顔[を]みると、給水車には

ンー ホカノケンカラ キテ テツダッタリネ シテイタダイタヨーダガラ。
うん 他の県から 来て 手伝ったりね していただいたようだから。

宮城県宮城郡松島町方言会話集（自由会話）注記

〔1〕 フタゴヤ

松島町にある地名。

〔2〕 ナンジナランダカヤ

文中から文末部分がはっきりとは聞こえないが、後の発話をみると、意味的には「どのくらい並んだんだか」と思われる。

〔3〕 Y1

企業名。

〔4〕 ソイツガ オセーラッタノ

「[主語]ガ～受身」という文法の報告はないため、言い間違いと思われる。少し言いよどんでいるので、「ガ」のあと文法が錯綜して、自分が主語になってしまったものか。

〔5〕 ナニスヤト

話者によると、「ナニスヤ」で「なんだって」という意味を表す慣用的な表現。津波の情報に接した時の、Cさんの驚き・困惑を表している。

〔6〕 ソイツガ

「そいつを」の言い間違いと思われる。

〔7〕 使い水

飲み水や料理以外の普段使いの水。『日本国語大辞典』（小学館）には「雑用に使うための水」とあり、地域は異なるが沖縄方言では「洗濯などに使う飲料にならない水」と記載される（『日本方言大辞典』小学館）。

〔8〕 アイズシテ

話者によると、ことばが出てこないときに言う表現。共通語の「あれをして・あのようにして」などといったものと同等のもの。具体的に何かを表しているわけではない。

宮城県宮城郡松島町方言会話集（自由会話）担当者

- 収録担当者 津田 智史（東北大学大学院文学研究科博士後期課程 3 年）
小原雄次郎（東北大学大学院文学研究科博士前期課程 2 年）
林 芸溱（東北大学大学院文学研究科博士前期課程 1 年）
- 文字化担当者 津田 智史（東北大学大学院文学研究科博士後期課程 3 年）